

定例記者会見 市長原稿
令和8年1月13日（火）
午前10時00分
全員協議会室

○冒頭挨拶

- ・ 新年、明けましておめでとうございます。令和8年初めの定例記者会見でございますので、冒頭に年頭のご挨拶とともに、何点かお話しさせていただきます。
- ・ 本年は、4月には保育園と幼稚園の機能を併せ持つ市内初の公立幼保連携型認定こども園「たちばなこども園」の開園を予定している他、5月には市立病院新病院が「小田原市立総合医療センター」として開院する予定です。
- ・ また、神奈川県が進める久野地区と穴部地区を結ぶ都市計画道路城山多古線および小田原山北線のトンネル区間の開通も予定しており、大きなハード整備が進む年となります。
- ・ そして、脱炭素の分野では「電力地産地消プラットフォーム」が4月に運営を開始する予定です。これは、エネルギーの地域自給に向けた取り組みの1つで、全国に先駆けたモデルになるものです。
- ・ また、昨年策定した「小田原市基本構想」に掲げる新たな将来都市像「誰もが笑顔で暮らせる、愛すべきふるさと小田原」の実現に向けて、まちづくりにおける今後の戦略やビジョンを明確化し、具体的な取組

などを体系的にまとめた「第7次小田原市総合計画第1期実行計画」がスタートする年です。第1期実行計画は、計画期間を令和8年度から令和10年度までの3年間とし、基本構想で掲げたおおむね20年先のまちの姿を実現するための第1歩です。

- ・ 市民の皆さまと共に、これまで培ってきた取り組みをさらに深化させ、持続可能性を軸に多彩な資源を最大限に活かしたまちづくりを進めてまいりたいと考えております。
- ・ 今後も、積極的な情報発信を心がけてまいりますので、記者の皆様におかれましては忌憚のないご意見を頂戴できればと存じます。
- ・ 続いて、昨年末に拡充が決定しました「重点支援地方交付金」についてです。
- ・ 既に、12月定例会にて「令和7年度物価高対応子育て応援手当」についてはお認めいただき、該当の世帯には、2月10日以降、順次、児童1人当たり2万円をお支払いできるよう、ただいま準備を進めております。
- ・ 食料品の物価高騰に対する生活者支援については、すべての世帯を対象に1人当たり5,000円の現金支給を計画しております。支給時期は、4月以降、できるだけ早い時期を目指します。

- なお、この現金支給につきましては、1月21日に臨時議会を開会し、補正予算を審議していただく予定です。手続き方法等、詳細につきましては、準備ができ次第、改めてお知らせします。
- そのほか、3月議会でも、生活者、事業者支援のための予算案を計上していく予定です。
- それでは本日もよろしく申し上げます。